

阪急沿線

2023年 大阪梅田新駅
11月 開業50周年
記念号

おかげさまで阪急大阪梅田駅は本年11月に新駅として現在の形になって50周年を迎えました。



大阪梅田新駅開業50周年

日本有数のターミナル駅である阪急大阪梅田駅は、9線10面のホームを有する現在の新駅が開業し、本年11月23日に50周年を迎えました。これを記念し、ご利用いただいているお客様に感謝の意をこめて本記念号を発行致します。



現在の大阪梅田駅

安全・快適へひたむきに

阪急電車

阪急沿線

2023年11月
山田駅開業
50周年記念号

おかげさまで阪急山田駅は本年11月に開業50周年を迎えました。



山田駅ホーム（昭和53年）

山田駅開業50周年

万博輸送のために設置の万国博西口駅が臨時駅の役目を終えて約3年後300m南側に山田駅が開業し、本年11月23日に50周年を迎えました。これを記念し、ご利用いただいているお客様に感謝の意をこめて本記念号を発行致します。

いい一日を選びたい…

阪急電車

空からフォーカス



大阪梅田新駅 50周年



大阪梅田駅管区
統括駅長
十川 拓司

大阪梅田駅 統括駅長
ごあいさつ

大阪梅田駅が現在の九線十ホームを有する現在の形となって五十年を迎えられますのもお客様の愛顧の賜物と感謝しております。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

さて、大阪梅田駅は大阪梅田エリアが世界と関西をつなぐ「国際交流拠点」となることを目指し、大阪梅田駅はその玄関口にふさわしい複合機能拠点として、大阪新阪急ホテル・阪急ターミナルビル、阪急三番街などの周辺施設とともに一体でリニューアルすることを計画しております。具体的なスケジュールはまだ決まっておりますが、大阪エリアの代表的なターミナルとしての機能を充実し、通勤、通学、観光やお買い物など、様々なお出かけのお客様に便利にご利用いただける駅を目指して参ります。今後とも愛顧賜りますようお願い申し上げます。

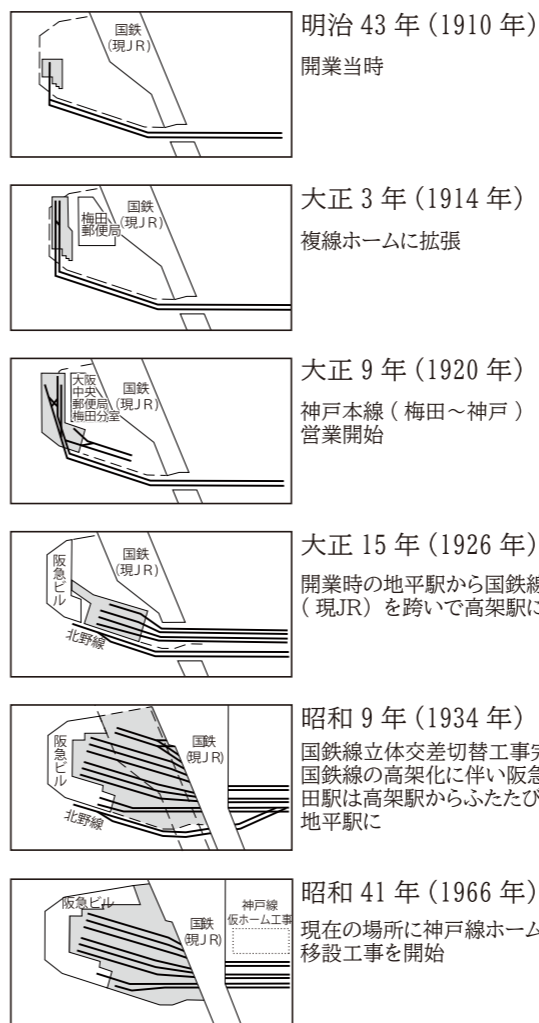
プラットフォーム



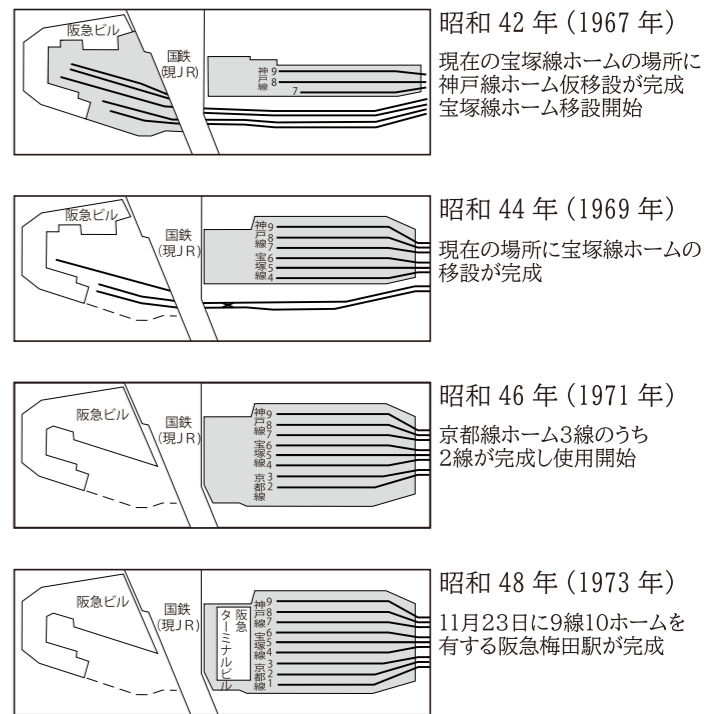
大阪梅田駅

1978年9月 梅田駅3階改札口

大阪梅田駅ホーム配置の変化



大阪梅田駅は明治四十三年に箕面有馬電気軌道(阪急電鉄の前身)の宝塚本線と箕面支線の営業開始時に開業し、現在の阪急百貨店がある国鉄線(現JR線)の南側に位置しておりました。以降、お客様の急激な増加にあわせて必要となる列車の増発や連結両数の増加に対応するため徐々に駅を拡張しましたが、国鉄線がホームの北側にあるため拡張が限界に達しました。そこで国鉄線の北側に駅全体を移設することとなり、昭和四十一年より工事を開始、現在の大阪梅田駅の場所に神戸線、宝塚線、京都線の順にホームを移設し、昭和四十八年十一月二十三日に現在の九線十ホームを有する日本有数のターミナルが開業しました。



阪急電車のおもな出来事

大阪梅田新駅開業50周年・山田駅開業50周年 記念企画

昭和	大正	明治
3(1928) 1月16日 新大阪鉄道(株) 淡路〜高槻町(16.3km) 営業開始	39(1906) 1月15日 箕面有馬電気鉄道(株) 創立発起人会設立	
6(1931) 3月31日 新大阪鉄道(株) 高槻町〜京都西院(21.4km) 営業開始	40(1907) 6月1日 箕面有馬電気鉄道(株) に社名を変更	
9(1934) 6月1日 新大阪鉄道(株) 桂〜嵐山(4.1km) 営業開始	43(1910) 3月10日 宝塚本線と箕面支線の営業開始	
11(1936) 4月1日 新大阪鉄道(株) 上筒井支線(西灘〜上筒井) 営業開始	7(1918) 2月4日 阪神急行電鉄(株) に社名を変更	
15(1940) 5月20日 新大阪鉄道(株) 上筒井支線(西灘〜上筒井) 営業開始	9(1920) 7月16日 神戸本線梅田〜神戸(上筒井)(30.3km)と伊丹支線塚口〜伊丹(2.9km) 営業開始	
18(1943) 10月1日 京阪電気鉄道(株) と合併し社名を京阪神急行電鉄(株) に変更	10(1921) 1月1日 阪急ビルディング(旧館) 竣工	
24(1949) 1月1日 北野線 梅田〜北野(0.8km) の営業を休止	10(1921) 4月1日 北大阪電気鉄道(株) 十三〜豊津(7.6km) 営業開始	
34(1959) 2月18日 梅田〜十三複線増設工事竣工(民鉄初の三複線化)	9月2日 西宝線 西宮北口〜宝塚(7.7km) 営業開始	
38(1963) 6月17日 千里山線延長 大宮〜河原町(1.9km) 営業開始	北大阪電気鉄道(株) 豊津〜千里山(1.7km) 営業開始	
39(1964) 8月29日 千里山線延長 千里山〜南千里(1.6km) 第一期工事竣工・営業開始	10月26日 甲陽支線 夙川〜甲陽園(2.2km) 営業開始	
41(1966) 2月1日 梅田駅拡張第1期工事(神戸線ホーム移設) 起工	阪急ビルディング(旧館) 2・3階に阪急マーケット開業	
42(1967) 3月1日 千里山線延長工事 南千里〜北千里(3.4km) 竣工・営業開始	新大阪鉄道(株) 天神橋〜淡路(3.3km) 営業開始	
43(1968) 4月7日 梅田駅拡張第2期工事(宝塚線ホーム移設) 起工	西宮北口〜今津(1.9km) 営業開始	
44(1969) 11月10日 万国博西口駅営業開始(〜1970年9月14日)	西宝線(今津〜宝塚) を今津線に改称	
46(1971) 11月28日 梅田駅拡張第3期工事(京都線ホーム移設) 竣工		
47(1972) 3月14日 阪急ターミナルビル竣工		
48(1973) 4月1日 阪急電鉄(株) に社名を変更		
48(1973) 11月23日 梅田駅拡張第4期工事(京都線ホーム1線増設) 竣工		
52(1977) 7月27日 阪急ランドビル竣工		
59(1984) 3月25日 今津線西宮北口で分断(ダイヤモンドクロス廃止)		
61(1986) 3月6日 山田東阪急ビル竣工		
元(1989) 4月1日 プリペイドカード「ラガールカード」導入		
7(1995) 1月17日 阪神・淡路大震災発生		
8(1996) 2月27日 全線開通(震災から147日目)		
15(2003) 3月16日 洛西口駅開業		
16(2004) 8月1日 PiTaPa本サービス開始		
18(2006) 7月31日 神戸線9000系車両営業運転開始		
19(2007) 10月1日 阪急阪神ホールディングス(株) が発足		
22(2010) 3月14日 東日本大震災発生		
23(2011) 3月11日 6300系車両を京町家風に改造した「京とれいん」運行開始		
24(2012) 11月21日 阪急うめだ本店ランドオープン		
25(2013) 3月23日 PiTaPaなど交通系ICカード全国相互利用スタート		
	11月28日 神戸線1000系車両営業運転開始	
	12月21日 西山天王山駅開業	
	12月21日 三宮駅、服部駅、中山駅、松尾駅をそれぞれ、神戸三宮駅、服部天神駅、中山観音駅、松尾大社駅に改称	
	12月25日 宝塚線1000系車両営業運転開始	
	3月30日 京都線1300系車両営業運転開始	
	3月23日 「京とれいん 雅洛」運行開始	
令和		
元(2019) 10月1日 梅田駅、河原町駅、石橋駅をそれぞれ、大阪梅田駅、京都河原町駅、石橋阪大前駅に改称		
5(2023) 11月23日 大阪梅田新駅開業50周年、山田駅開業50周年を迎える		



1973年11月 山田駅竣工式典



1973年11月23日 梅田駅完成 初発の記念列車



1934年 逆転立体交差直前の梅田駅



1910年3月10日 開業当日の梅田駅

プラットホーム



山田駅

山田駅は阪急全駅の中でも一番新米の駅。昭和四十八年十一月二十三日に開業しました。しかし駅名となった山田の地は古い歴史を持ちます。「山田」という地名の由来は、皇太神宮を伊勢の宇治山田原からこの地に分けて祭った際に山田原の地名も移ったといわれます。また一説には、千里丘陵は古く「垂水の牧」と呼ばれ、平安京に供する馬や牛を放し飼いでいたが、この垂水牧内にできた、耕作するための山田に由来するともいいます。

北千里―南千里間には、昭和四十五年の万国博覧会中、「万国博西口駅」という臨時駅が設けられていました。



現在の山田駅より三〇〇呎北方で、万国博会場に最も近い位置でした。この駅と会場との間には長さ一〇呎の通路橋がかげられ、入場者が街路に出ずに会場へ歩いていけるようにした文字どおり万博駅でした。

六カ月にわたる万博輸送のためには京都線に所属する車両だけでは不足となり、神戸線と宝塚線の車両の応援はもちろんのこと、前年に相互直通運転を開始していた地下鉄堺筋線の車両をも動員するダイヤが組まれました。期間中に運行したエキスポ直通、エキスポ準急、万博入場客用臨時列車などの総合計は一万四千六百本に上りました。その車両走行キロは三〇八万キロ。月と地球の間を約四往復したことになります。

万博の四年後、昭和四十九年の夏、万博記念公園では「中華人民共和国博覧会」が開催され、山田駅はこの最寄り駅として初めて表舞台に登場し、会場を訪れた約五十八万人の方々に利用していただきました。

開業一年後の山田駅の乗降人員は五千八百一人で、全八十四駅中八十二番目、その後、阪急電車が駅東側に分譲した千里王子住宅地などの開発が進み、昭和六十年には一万七千四百七十五人で順位も五十六番目になっています。

(注1) 2023年現在で最も新しい駅は2013年に開業した西山天王山駅です。
 (注2) 2022年 山田駅の通年平均の乗降人員は20,623人で86駅中34番目です。(天神橋筋六丁目、神戸高速線を除く)

阪急電車・車窓クイズ



応募ページ



この応募ページはユミルリンク(株)の応募フォームを使用しております。

「締め切り」
 令和五年十二月五日

阪急電車の車窓から見られる風景(一ヶ所)を、三枚の写真で表しています。さて、この写真はどこの風景を写したものでしょうか。

おわかりの方は、ウェブサイトの回答欄に住所、氏名、年齢を入力のうち「〇〇駅と〇〇駅の間」というように駅名をお答えください。

正解者の中から抽選で、十人の方に阪急電車ノベルティグッズを差し上げます。

この風景は



どしよひん?

山田駅 50周年

平素は阪急電車ならびに山田駅をご利用賜りまして誠にありがとうございます。山田駅が開業五十周年の節目の年を迎えられましたことはひとえにお客様のご愛顧のおかげでございます。この場をお借りして管区員一同御礼を申し上げます。



淡路駅管区 統括駅長 谷内 尉幸

山田駅を管轄する 淡路駅 統括駅長(あいさつ)

空からフォーカス



左ページの記事にもございましており、山田駅は一九七〇年に開催された大阪万博にあわせて設置された臨時駅「万国博西口駅」の廃止後に同駅を引き継ぐ形で三年後に開業しました。大阪モノレール開業後は万博公園へのお出かけにも多くご利用いただいております。「万博」と深い縁がございます。これからも通勤通学はもとより休日の万博公園へのお出かけにも山田駅をご利用賜りますようお願い申し上げます。